

音源にニッケンームをつけよう。
ポイント1：必ず4耳で聞いた音の特徴を入れる。
ポイント2：他の人にも音源がわかるようにつける
ポイント3：心に残る名前をお願いします。

ポイント1：音源の特徴を5の倍数あげよう。
2つの口でおしゃべりしよう

ポイント2：4つの耳を使って聞いてみよう。
4つの目を使って見てみよう。

ポイント3：3分間、よく聞きましょう。
気になる音が聞こえたら、

ポイント4：2人で音を探しに行きましょう。

ポイント5：ふたり1組になります。

4つの耳で聞いてみよう

音源

15	
14	
13	
12	
11	
10	
9	
8	
7	
6	
5	
4	
3	
2	
1	

前 中 後

はどんなようでしたか？

4耳4目2口でさがした特徴

音源は、 _____ です。

私たちはつけたニッケンームは：

☐ 心に残るなまえですか？

☐ 他の人にもわかるような名前ですか？

☐ 4つの耳で聞いた音の特徴を入れましたか？

候補1 _____

候補2 _____

候補3 _____

候補4 _____

候補5 _____

15±個の特徴からニッケンームをつけましょう。

ニッケンームをつけよう

きれめをいれる

千葉県立中央博物館音の観察シリーズ1

耳をたよりに自然を観察しよう

名前： _____

年月日： _____

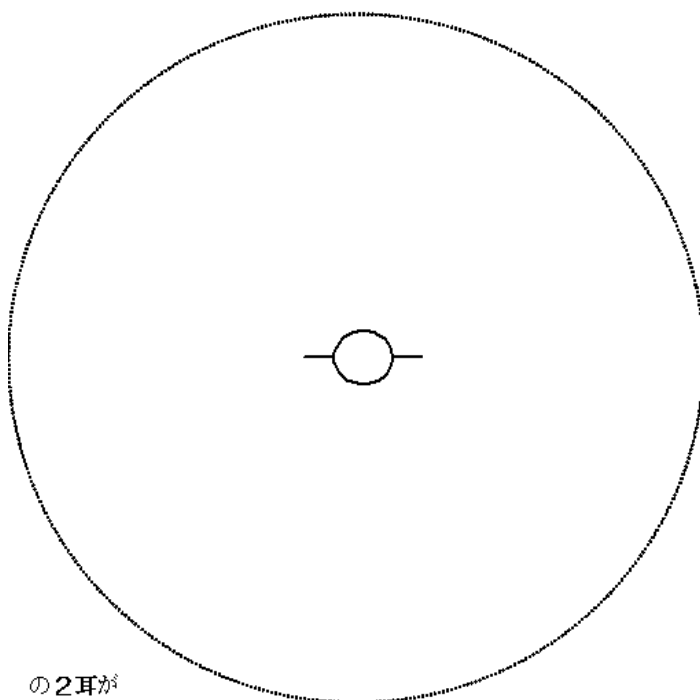
時刻： _____

場所： _____

天気： _____

さあ、耳ならしです。

目をつぶって、音を探してみましょう。



の2耳が

私が聞いた音は全部で _____ 種類でした。

音の観察のポイント

- どんな音ですか？
長い・ _____
_____ ・ 繰り返す
断続的・ _____
_____ ・ 低い
単調・ _____
_____ ・ 小さい
- 文字や記号で表してみましょう。

- どこから聞こえてきますか？



ニッケンーム

種名

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	

あなたはどの名前に入りました？

名選・迷選 ニッケンーム集

鳥の鳴き声（解説）

さえずり 主として雄が、繁殖期に鳴く声で、とくに小鳥（鳴禽類）では種の情報を含む複雑な音声に発達している。なわばり広告として使われるほか、雌の誘引にも機能している場合がある。 複雑な構造は、要素の変異、多岐にわたる要素の組み合わせ、たくさんの替え歌などによる。

地鳴き 年令・性別を問わず、すべての鳥が日常に使っている音声で、単純なものから複雑なものまでいろいろある。とくに、行動やコンテキストと関係して異なる地鳴きがある。たとえば、飛翔声は飛びながら出す声だが、種類ごとに区別がつく。コンタクトコールは仲間と接触をはかる声で、近い仲間では似通っている。警戒声は多くの種類に共通している。

制作： 千葉県立中央博物館生態学研究科 大庭照代 H12.6.
〒260-8682 千葉市中央区青葉町 955-2 FAX 043-266-2481
無断転載しないようにお願いします。